

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 観光ビデオを通して日本の魅力を国内外へアピール 第二回 観光映像大賞、特設サイトが本日よりオープン！

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)」は、今年2回目となる「観光映像大賞」の公募を2012年9月27日～2013年3月29日までに行い、ご当地のゆるキャラや戦隊シリーズ、ドキュメンタリーやドラマ、CM作品まで、全国各地から様々なジャンルの277作品の応募が集まりました。

本大賞の応募作品は、ノミネート作品として本日4月18日オープンの特設サイトにて紹介され、ロケーション情報の閲覧や作品の視聴が出来ます。また一般ユーザーは、facebookやtwitter、Google+などのアカウントから自分の好きな作品に投票ができます。ユーザー投票の結果は、本大賞を決定する上で参考値としてカウントされるだけでなく、観光映像大賞以外の賞の設置も視野に入れて展開して行きますので、投票数を元に他賞を決定していきます。観光映像大賞(観光庁長官賞)は、2013年5月30日(木)に表参道ヒルズスペース オーにて行われる、「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2013 オープニングプレスイベント」にて発表となりますので是非ご参加ください。

観光映像大賞概要

- 主催： ショートショート実行委員会 観光映像課
- 後援： 国土交通省観光庁／全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会
- 協力： 株式会社エイチ・アイ・エス / ジャパン・フィルムコミッション
- 特設サイト： http://www.shortshorts.org/kankou_taishou/

<本大賞参加作品ロケーション分布> ※()内はその県をロケーションとした作品数

北海道(8)／青森県(4)／秋田県(1)／岩手県(2)／山形県(3)／宮城県(4)／福島県(4)／茨城県(0)／栃木県(5)
群馬県(3)／埼玉県(15)／千葉県(3)／東京都(2)／神奈川県(5)／山梨県(1)／長野県(2)／新潟県(4)／富山県(9)
石川県(6)／福井県(1)／静岡県(11)／愛知県(6)／岐阜県(10)／三重県(7)／滋賀県(3)／京都府(30)／大阪府(2)
奈良県(24)／和歌山県(2)／兵庫県(10)／鳥取県(2)／島根県(2)／岡山県(3)／広島県(6)／山口県(4)
香川県(1)／愛媛県(4)／徳島県(3)／高知県(1)／福岡県(9)／大分県(4)／熊本県(9)／佐賀県(9)／長崎県(3)
宮崎県(0)／鹿児島県(2)／沖縄県(16)／その他(12) ※ロケーションが複数県にまたがる作品

観光映像大賞特設サイト開設

1. 好きな作品に投票できる

観光映像大賞以外にも、複数賞を設定予定。ウェブでの盛り上がりも審査基準の一部となりますので、みなさんふるって投票にご参加ください。
※投票には、facebook、twitter、Google+のアカウントが必要です。

投票期間：2013年4月18日(木)～5月15日(水)

※大賞以外の各賞の発表は、特設サイト上にて行います。

2. 好きな映像をみんなとシェア出来る

観光映像大賞にエントリーしなくても、自分の好きな映像をYouTubeで見つけたら、全国各地のユーザーとシェアしてみましょ。ご当地面白CMから、泣けるドラマ作品まで、“あ、ここ行ってみたいな！”と思わせる観光映像をどんどんアップロードしてください。



株式会社エイチ・アイ・エスとの連動企画

観光映像と旅行を直接つなげる連動企画として、株式会社エイチ・アイ・エスとSSFF & ASIAが旅がしたくなるショートフィルムを厳選し、「映像」と「旅」を繋げるスペシャルショーケースを展開、沖縄・北海道・九州の魅力が詰まった作品を無料で鑑賞いただけます。

■特設ショーケース：<http://www.his-j.com/kokunai/kanto/special/shortshorts.htm>

※4月19日サイトオープン

過去の概要／実績

ショートショートフィルムフェスティバル & アジアは、2010年から2012年の3年間に渡り、国土交通省 観光庁とともに日本の観光振興を目指す映像のコンペティション、「旅ショート！プロジェクト」を開催しました。このプロジェクトは、「旅っていいな」、「旅がしたくなった」、「日本に行きたくなるね」をキーワードに、「日本の旅」、「日本の魅力」を描写する20分以内のショートフィルムを全国から募集し、各界で活躍する審査員により優秀賞（国土交通大臣賞）1作品を選出してきました。過去の受賞作品や、特別製作作品を含む優秀作は、特設HPで無料ご覧いただけます。（特設HP：<http://www.shortshorts.org/travel/ja/>）



2010年度本プロジェクト審査員
忽那汐里氏、デーブ・スペクター氏



2011年度本プロジェクト審査員
セイン・カミュ氏、菊川怜氏、
中島信也氏



2012年度本プロジェクト審査員
ハービー・山口氏、たかのてるこ氏、
パトリック・ハーラン氏



観光庁長官 井手憲文氏も
アワードセレモニーに会場

旅ショート！プロジェクト受賞・ノミネート作品・特別製作作品 海外映画祭上映履歴 ※一部抜粋

アテネ国際短編映画祭(ギリシャ)
高雄映画祭(台湾)
アジアナ国際短編映画祭(韓国)
ドーハ・トライベッカ映画祭(ドーハ)
ニッポン・コネクション(ドイツ)
LA Eiga Fest(アメリカ)

カンボジア国際映画祭(カンボジア)
ロサンゼルス・トルコ映画祭(アメリカ)
グアム国際映画祭(アメリカ)
カット・アウト映画祭(メキシコ)
ワイルドライフ・バーサ映画祭(フィンランド)

ショートショートフィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)とは

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創立者として1999年に東京・原宿で誕生。初年度は映画『スターウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。2001年には「ショートショートフィルムフェスティバル(SSFF)」と名称を改め、2004年には米国アカデミー賞公認映画祭として認定されました。これにより、映画祭のグランプリ作品が、次年度のアカデミー賞短編部門のノミネート選考に入ることになり、日本からオスカー像を手にする若手が出現する可能性への架け橋ができました。

同年には当時の東京都知事、石原慎太郎氏の発案により、アジア発の新しい映像文化の発信、新進若手映像作家の育成目的からショートショートフィルムフェスティバル アジア(SSFF ASIA)を立ちあげ、現在はSSFFとSSFF ASIAという2つの映画祭が「ショートショートフィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」として同時開催されており、アジア最大級の国際短編映画祭へと成長しています。2008年には、横浜みなとみらいにショートフィルム専門映画館、プリリア ショートショートシアターを設立。映画祭としてはこれまでに延べ27万人を動員し、日本にショートフィルムを啓蒙する役割を果たすべくその活動領域を広げています。

また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねるほか、海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も積極的に行っています。本映画祭では、2007年に『MEI 美』がノミネートとなり、『台北の朝、僕は恋をする』で長編デビューをしたアーヴィン・チェン監督、『881 歌え！パパイヤ』がシンガポールで大ヒットとなったロイストン・タン監督、2010年に米国アカデミー賞にノミネートされた『マイレージ・マイライフ』のジェイソン・ライトマン監督など、本映画祭を経てチャンスを掴み、長編監督として成長していった例も少なくありません。今や第一線で活躍するこれらの監督のように、世界に羽ばたく若きクリエイターを本映画祭はこれからも応援していきます。

<メディアからのお問い合わせ先>
ショートショートフィルムフェスティバル & アジア事務局
PR担当: 高橋、川村
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202
E-mail: press@shortshorts.org

<観光映像大賞参加に関するお問い合わせ>
観光映像課 担当: 磯山、菊地
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202
E-mail: submission@shortshorts.org